

あなたのまちづくりへの参加・行動がまちの姿・形を変える！  
一人ひとりのまちづくりへのかかわりを強めることで  
**住みよい松ヶ崎づくりに邁進！**

松ヶ崎の課題

- ・ 高齢化と人口減少
- ・ 自然災害対策の強化

地震・風水害などの自然災害

に対する取り組みと防犯・交通安全対策は？

地域でできる防災対策、防犯対策、交通安全を徹底することで、安心・安全が保障されるまちづくりを進めます。

具体的には…

継続した防災訓練、避難所の整備、老朽化した海岸堤防の改修要望、防犯隊への参加促進と活動強化、防犯灯（LED）の整備による明るい生活道路の実現、交通安全協会松ヶ崎支部活動の強化と積極的参加により、交通ルールを守るまち松ヶ崎の実現を現実化することで、“いついつまでも、住み続けたい生活環境全般の整備を進めます。

高齢化対策と

子供を見守り育てる対策は？

人に優しいまちづくりを基本とした良好な人間関係を育てる施策を構築し実践します。

住みよい住空間の創造と  
安心・安全の地域空間  
の創造を進めることで  
**人口減少に歯止めを!!**

人口減少対策は？

「個人でできること」「地域でできること」  
「市県国に要望すること」を整理し確かな  
まちの**“姿・形”**づくりを進めます。

★問題解決への6つの行動★

- 1 松ヶ崎に住んでいることを誇れる心（気持ち）の育成
- 2 祖父母・父母・子・孫と一緒に暮らせる生活空間の整備
- 3 思いやる気持ちが通うまちづくりで仲良い隣近所の関係づくり
- 4 みんなで集い楽しむ場の提供（行事・イベントの開催）と参加促進
- 5 災害に負けない環境整備と助け合う良好な人間関係の構築
- 6 子どもを見守り育てる人づくり

私たちが目指すまちの将来像

＜みんなの理解と行動で！＞

- ◆ 老若男女が楽しく暮らせるまち “松ヶ崎”の誕生
- ◆ 安心して住めるまち “松ヶ崎”の誕生
- ◆ 日々の楽しみが実感できるまち “松ヶ崎”の誕生

元気な地域の創造は？

松ヶ崎漁港まつりや、朝市、地区体育祭、スポーツ大会、公民館事業等の充実を図るとともに、新たなイベントとして「松ヶ崎さくらまつり（中川河畔）」開催し、**“楽しみの場”**  
**“賑わう場”**を実現します。

＜人と人とのつながりを大切にするまち“松ヶ崎”＞

ここに住む人々はこのまちが大好き！

「祖父母・父母・子・孫」が、いつまでも一緒に暮らせるまちづくりを確かな歩みで実現させなければなりません。そのための最大の要因は住みよいまちづくりです。実現に向けて「一人ひとりの役割」「地域の役割」「役所（行政）の役割」を理解しつつ、一人ひとりの知恵と行動をエネルギーに、人々が真に求める“まち”を創造しましょう

＜松ヶ崎まち協、部会活動の活性化に向けて＞

〔住みよいまちづくり部会〕

より良い住環境整備のために危険個所などの定期点検をおこなうなど、住みよいまちづくりに向けて活きた活動を推進します。

これまで当部会は、防犯灯（LEDへ交換）への助成をおこなうことで夜間の安全・安心づくりを推進しています。

〔安全・安心のまちづくり部会〕

安全の保障されないまちは、住みにくいまちです。災害に強いまち、そして犯罪・交通事故のない、安心して住み続けることができるまちづくりに向けて活きた活動を推進します。

これまで当部会は、地震により倒壊した家屋からのけが人の救出、ブロック塀等で塞がれた道路上の瓦礫を撤去するため、重機等の所有者と「重機等提供協定書」を締結しています。

また、地域住民の避難所（松ヶ崎小学校）の整備を松阪市に要望し、実現されました。さらには、松阪市に対し、第2次避難所（松ヶ崎外の施設）の公式指定の要望をおこなっています。

三重県に対しては、老朽化した海岸堤防（百々川樋門～中川樋門の間約900m）の早急な現状調査・工事の着工を要望しています。

〔スポーツ・文化のまちづくり部会〕

松ヶ崎の歴史・風習・伝統行事について、参加する機会の提供をおこなうことと、一人ひとりの健康づくり（各種スポーツ大会の開催）に向けて、活きた活動を推進します。

これまで当部会は、各種スポーツ大会、史跡めぐりなどを開催することで、良好な人間関係の輪を広げる役割を担っています。

〔人にやさしいまちづくり部会〕

人に対する優しさ溢れるまちづくりに向けて、活きた活動を推進します。

これまで当部会は、子どもの見守り、一人暮らしの高齢者への見守りを兼ねた配食サービスをおこなうとともに、75歳以上の高齢者の皆さんに、非常時連絡手帳「命のカルテ」を配布しています。手帳の内容は、自らのデータの記入ページと地震災害ミニ知識で構成したものです。配布時に有効活用されるよう周知を図ったところです。なお、この非常時連絡手帳は、継続した事業として取り組む予定です。

〔うつくしいまちづくり部会〕

私達が住み続けるために欠かせないものは、美しい地域の創造です。

生活空間の環境整備を進めるため、活きた活動を推進します。

これまで当部会は、松ヶ崎公園、百々川堤防敷き（通学路）、松ヶ崎漁港、海岸堤防の草刈、各所への植樹などの美化活動を進めてきています。

〔協議会本部〕

松ヶ崎まちづくり協議会活動を地域の人々に浸透を図るため各種事業、行事・イベント（まつがさき漁港まつり・朝市）などを開催し、みんなが楽しく集える場づくりを進めていますが、新たに“松ヶ崎さくらまつり”を企画し、みんなが集う場の充実を図ります。

また、宇気郷住民協議会との間で、「災害発生時相互支援協定書」を締結しています。

これまで両協議会は、防災訓練の一環として、救援物資の相互輸送訓練を実施するとともに、松ヶ崎まち協が作成した「非常時連絡手帳」の贈呈など、両地区の良好な関係づくりに努めています。

この目的は、平素から深い関係を築くことで「いざ！」という時にお互いの“支援力”が発揮できるようにするためです。

宇気郷との関係づくりは、「山から湧き出た清水が川となり海へと流れ出る」「山の元気が海の健康の源」であることから、山の宇気郷と海の松ヶ崎との関係は、自然を大切にする気持ちを共有する間柄にあります。

他地区との連携は、お互い“学ぶ”メリットがあり、今後も関係強化に努めます。